

## 会 議 録

会議の名称	令和7年度第3回飯塚市国民健康保険事業の運営に関する協議会
開催日時	令和8年1月22日（木） 15:00～16:10
開催場所	飯塚市役所 本庁7階 第2委員会室
出席委員	吉田委員、脇田委員、上田委員、肘井委員、齊藤委員、 藤浦委員、光根委員、八尋委員、上瀧委員、楠元委員
欠席委員	田中委員、白土委員、新開委員
事務局職員	市民環境部：長尾恵美子 医療保険課：大隈友加、渡邊鯉佳、飯田昭子、山上友典、奥松静香 税務課：梶原あゆみ、渡邊幸次 健幸保健課：坂口由美子、片山規子
会議内容  事務局	<p>1 開 会</p> <p>2 議 事</p> <p>（1） 令和7年度国民健康保険特別会計決算見込について</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>➤ 令和7年度の決算見込みは、歳入130億6,019万8千円、歳出総額132億2,216万3千円、差引1億6,196万5千円の赤字決算見込となっており、前年度繰越金や前年度の超過交付額を加味した令和7年度単年度収支は1億1,029万6千円の赤字見込みとなっている。</li> </ul> <p>（2） 国民健康保険税の改正について</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>➤ 飯塚市国民健康保険特別会計の令和6年度単年度収支決算においては、5,038万2千円の赤字であり、令和6年度及び7年度の2年間では、1億6,067万8千円の赤字を見込む。</li> <li>➤ 令和8年度及び9年度の2年間を通じた会計収支は1億2,700万6千円の赤字見込みとなり、前年度からの余剰金（赤字額）1億4,049万7千円を加味した結果、2億6,750万3千円の赤字の見込みとなる。なお、8年度及び9年度会計収支については、国民健康保険事業費納付金本算定結果及び見込みの推計値、令和7年度の現行税率を用いて試算を行った。</li> <li>➤ 令和8年1月8日に県から示された令和8年度標準保険料率で試算を行ったところ、令和8年度及び9年度の2年間を通じた会計収支は6億2,559万3千円の黒字見込みとなり、前年度からの余剰金（赤字額）1億4,049万7千円を加味した結果、4億8,509万6千円の黒字の見込みとなった。</li> </ul>

事務局	<ul style="list-style-type: none"> <li>➤ 令和9年度末国民健康保険給付費等準備基金残高は、現行税率では5億3,117万5千円、標準保険料率では12億8,377万4千円の見込みとなった。</li> <li>➤ 令和8年度及び9年度の財源不足については、国民健康保険給付費等準備基金を取り崩して補うことで、増税等による保険加入者への新たな負担を避けることができる。</li> <li>➤ 「現行税率」、「標準保険料率」で試算を行い諮った結果、令和8年度及び9年度においては、国民健康保険給付費等準備基金を活用し、子ども・子育て支援金分を除いた国民健康保険税については、現行税率を引き続き継続し、税率改正は原則行わないこととし、また、子ども・子育て支援金分の保険税については本制度が安定すると見込まれる経過措置が完了する令和10年度までは、県が算定する標準保険料率を飯塚市の税率として設定することが望ましいとの答申を行う。</li> </ul>
楠元委員	<p>○質問</p> <p>答申書（案）の中で、「国民健康保険税率については、特別な事情がない限り、2年間は現行のまま据え置くこととする。」と表記されているが、「特別な事情」とはどのようなことか。</p>
事務局	<p>⇒回答</p> <p>国民健康保険事業については、医療費が増加すると県からの普通交付金で賄われている。それ以外に、市単独で出さないといけないような事業が大幅に増加して賄えなくなる場合などには税率を変えないといけないとも考えている。</p>
楠元委員	<p>○質問</p> <p>例えば今計画されてある令和8年度の収支を大幅に超えた場合に、9年度はそれを考えて税率を変えることができるということか。</p>
事務局	<p>⇒回答</p> <p>確認していただいたとおり、基金の残高があるため、基金を使って運営できると考えている。</p> <p>令和8年度及び令和9年度については特別な事情は考え当たらない状況で、単年度での保険税の改正については市民に負担がかかると思っている。</p> <p>※答申書（案）を協議会の答申とすることを承認。</p>

事務局	<p>(3) 令和6年度特定健康診査等の実績及び令和7年度特定健康診査等の現状について</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>➤ 特定健康診査等の令和6年度実績については、対象者14,949人中、受診者6,356人、受診率42.5%。令和5年度に比べて0.5ポイントの減となっているため、今年度は受診勧奨に一層力を入れて実施しているところである。</li> <li>➤ 特定保健指導については、国の目標である60%を上回る80%前後で推移している。</li> <li>➤ 令和7年度については、事業計画で定める特定健康診査受診率60%の目標達成は非常に困難な状況ではあるが、受診勧奨通知や電話による勧奨の他、未受診者への訪問等にも取り組んでおり、今後も医師会・事業所等関係機関の皆様のご協力をいただきながら、事業を進めてまいりたい。</li> </ul>
肘井委員	<p>○質問</p> <p>特定健康診査の受診率については県内60市町村のうち、何番目になるのか。また、特定健康診査と一緒にがん検診を受診される割合はどの程度あるのか。</p>
事務局	<p>⇒回答</p> <p>令和6年度実績では60市町村中19番目となっている。割合については資料を持ち合わせていないため、はっきりとした数値では回答できないが、集団健診2,000名のうち概ね7~8割の方ががん検診も受診されている形となっている。</p> <p>(4) その他</p> <p>○質問及び意見なし</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>➤ 本日をもって、令和7年度の飯塚市国民健康保険事業の運営に関する協議会は終了とする。</li> </ul> <p>3 閉 会</p>
会議資料	<p>令和7年度 第3回飯塚市国民健康保険事業の運営に関する協議会資料</p> <p>(資料1) 令和7年度国民健康特別会計決算見込み</p> <p>(資料2) 国民健康保険税税率改定に関する収支見込み資料(令和6年度、7年度)</p> <p>(資料3-1) 国民健康保険税税率改定に関する収支見込み資料(令和8年度、9年度)【税率据え置き試算】</p>

	(資料 3-2) 国民健康保険税税率改定に関する収支見込み資料（令和 8 年度、9 年度）【各税率比較】 (資料 3-3) 各推計資料 (資料 4) 答申書（案） (資料 5)（資料 5 説明資料）令和 6 年度特定健康診査等の実績及び令和 7 年度特定健康診査等の現状について (追加資料) 子ども子育て支援金分試算（モデルケース）
公開・非公開 の別	① 公開                      2 一部公開                      3 非公開 (傍聴者 0 名)
その他	